



CertifGate®

アクティブRFIDで広がるソリューション

フードディフェンス支援システム

(敷地へのアクセス管理サポートツール)



- ・フードディフェンスの導入を検討中
- ・ISO22000からFSSC22000へステップアップしたい！

という、御客様の課題を

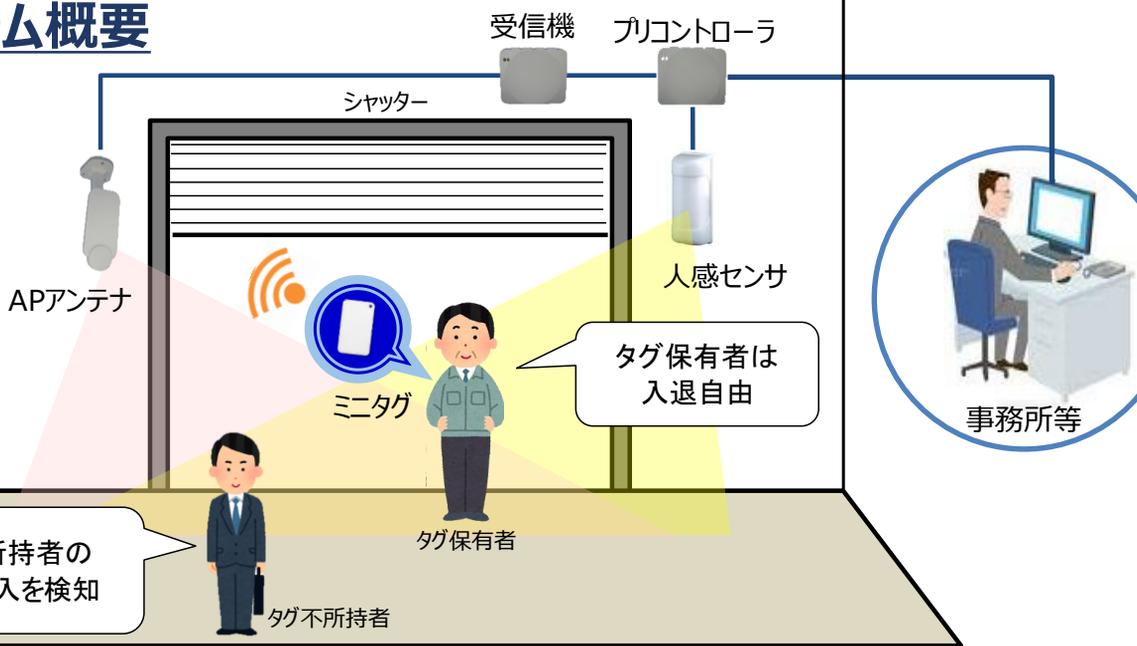
これまでに**約60工場への導入実績がある当社のシステムが解決します！**

- ・フードディフェンスの第一歩は外部からの不正侵入を防ぐことです！
- ・FSSC22000でも「敷地へのアクセスを管理しなくてはならない」と規定されています。

アクティブだから、近づくだけの簡単認証で入退管理！

さらに「誰が」「いつ」「どこに」をリアルタイムに位置検知

システム概要



位置情報管理

- ・社内の高セキュリティゾーンへの入室権限者を限定できます。
- ・位置情報による動線管理⇒作業効率化が期待出来ます。

セキュリティゾーニング

セキュリティ区域を設定することで、従業員の立入を制限できます。

動線管理

動線をデータ管理することで、従業員の行動に問題がないことを確認できます。

<その他>

- ・PoCキット
システムのスタート向けキットもご準備しています。
- ・BLE対応アンテナ
スマートフォン等をタグとして使用出来ます。

温湿度センサ無線との連携

細やかな温湿度管理が必要な薬品庫や菌保管庫に温湿度センサを設置し、推移を画面で確認出来ます。



監視カメラシステムとの連携

カメラとの連携により不正発生の瞬間を即再生出来ます。



一般的な対応手段と弊社の CertifGate® を比較してみました

項目	CertifGate®	守衛設置 + 出入口特定 (フェンス設置)	監視カメラの設置
コスト	○ 10カ所の管理で機器代 + 基本ソフトを含め 約400万円	△ 50m四方のメッシュフェンス設置 約300万円 人件費は約40万/月	△ カメラ10台 + レコーダー + 管理システムの構成 約500万円以上
効果実用性	◎ タグを保有する人(社員)のみが敷地へのアクセス可能	○ 敷地へのアクセス管理に特化	△ 常時録画しているだけの運用では実用性が薄い(事後対応)
拡張性	◎ ・高セキュリティゾーンへの入場制限 ・従業員の動線管理(さぼり防止) ・温湿度センサ無線との連動可能	× ・敷地へのアクセス管理以外の拡張性は期待できない	○ ・監視カメラ + セキュリティシステム導入

※費用については、弊社実績に基づき例として挙げています。

お問合せ先

立山科学工業株式会社 (株)立山科学ワイヤレステクノロジー

http://www.t-wireless.jp/

E-Mail : Wireless@tateyama.or.jp

富山 076-429-8379 担当:川崎

東京 03-5256-0723 担当:今岡